

第5学年 理科学習指導略案

日時 6月12日 5・6校時
(13:45～15:20)

指導者 大石 照彦

1. 単元名 動物のからだのはたらき (本時 7・8 / 9)

2. 本時のねらい

- ・全身の血液の通り道と血液のはたらきについて調べ、血液は心臓のはたらきで体内をめぐり、酸素や二酸化炭素、養分などを運んでいると考えることができる。

3. 本時の展開

学習活動	指導上の留意点
1. 前時に脈拍数や心臓の拍動数を調べてわかったことを発表し合う。 2. 血管と血液の流れについて調べる。 血液は、からだのどこを流れているのだろう。 ・グループで血液が流れる順番について話し合い、予想を立てる。 ・予想を立てた後、教科書や理科学習ノートを使って調べたり、まとめたりする。 3. 血液のはたらきについて調べる。 血液は、からだの中を回りながら、何を運んでいるのだろう。 4. 血液の流れやはたらきについて、指導主事の先生のお話や資料で確かめる。 5. まとめをさせる。 ＜キーワード＞ 心臓、酸素、養分、全身、 二酸化炭素、肺、運ぶはたらき	・脈拍数と心臓の拍動数が同じであることやテンポが同じであることに注目している児童のまとめを取り上げる。 ・心臓の動きと血液の流れとのかかわりについてまとめさせる。 ・心臓の内部のつくりを理科学習ノートで確認させる。 ・心臓からでた血液がどのように流れているのか、順にたどらせる。 ・人体模型や掛け図も用意し、調べ学習に使えるようにする。 ・これまでの呼吸や消化の学習と関連づけて考えさせる。 ・I T Vをつなぐ。 ・指導主事の先生のお話や資料提示をメモをとらせながら視聴させる。 ・自力でまとめがかけない児童には、キーワードの部分が（ ）ぬきでまとめられたプリントを配布して、（ ）を埋めさせる。

4. 評価

血液はからだじゅうをめぐりながら、酸素や養分を運ぶはたらきをしていると考えることができる。(思考) 発言・記録

